

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立依羅小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	住吉区
学 校 名	大阪市立依羅小学校
学 校 長 名	出石創二

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立依羅小学校では、第6学年 72名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立依羅小学校の結果概要

国語科の平均正答率は55%で、全国平均より5.9ポイント、大阪市平均より4.0ポイント下回った。算数科の平均正答率は53%で、全国平均より3.4ポイント、大阪市平均より3.0ポイント下回った。

平均無解答率については、国語科が2.3%、算数科が2.7%とともに全国平均及び大阪市平均よりも下回った。

児童質問紙調査では、自己肯定感や自己有用感に関する質問に対して、全国及び大阪市よりも肯定的な回答の割合が高い結果となった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

平均正答率の全国との差は、昨年度と比べると5.1ポイント広がった。特に「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」の正答率が低く、本校児童の課題が明らかになった。また、学習指導要領の内容における「B書くこと」の正答率が低いため、文章全体の構成や展開を考える力、自分の考えが伝わるように工夫して書く力を高めていく必要がある。一方で、「(2)情報の扱い方に関する事項」については、全国平均及び大阪市平均を大きく上回ることができている。日頃より、資料や図から情報を読み取り、それを根拠として考えを表したり、語句と語句との関係性に気づいたりする学習の成果が表れている。

【算数】

平均正答率の全国との差は、昨年度と比べると2.4ポイント広がった。しかし、第IV区分の児童の割合は、昨年度と比べて2.3ポイント減少しており、算数科における基礎的な知識・技能が定着してきていることが窺える。一方で、情報量の多い問題と出合った場合に、必要な情報の取捨選択や文意を正確に理解することに課題が見られたので、今後の教育活動の中で改善していきたい。

質問調査より

「自分には、よいところがあると思いますか」の質問に対して、全国及び大阪市よりも肯定的な回答の割合が高い結果となった。また、国語科・算数科に関して、各教科に関する質問における「好きですか」「得意ですか」という質問に対して、国語科では全国よりも肯定的な回答の割合は上回ったが、算数科では下回った。算数科においては、既習内容を活用したり、問題の解き方を工夫したりすることに対して苦手意識をもつ児童が多くいることがわかった。

ICT機器に関する質問では、「あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができると思いますか」という質問に対して、肯定的な回答の割合は全国を上回ることができた。しかし、ICT機器を活用して自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりすることに対しては課題が見られる。

今後の取組(アクションプラン)

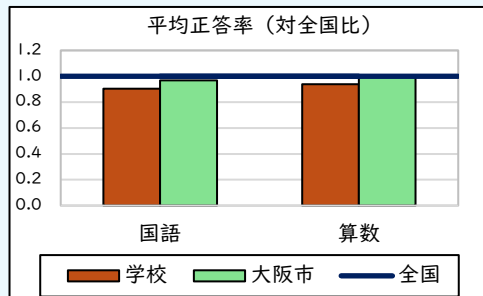
ここ数年の結果より、国語科・算数科ともに、全国及び大阪市との差が大きく広がっていることはない。しかしながら、全国平均及び大阪市平均にはいまだ届かない現状である。また、第IV区分の割合も多いことから、いかに学習の定着を図れるかを学校全体で考えていかなければならない。

本校は、今年度も放課後学習(アフタースクール)を継続的に行っている。個人指導できる時間を十分に確保し、児童の実態に応じた問題を準備して学習に取り組んでいる。今後も一人一人のつまずきを把握し、個に応じた課題を設定し取組を進めていきたい。また、授業研究を中心とした校内研修を充実させ、教員の指導力・授業力の向上につながる機会を設けていく。そして、教員同士が学び合い、高め合う研修を推進することで、学校全体が活性化するよう取り組んでいく。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

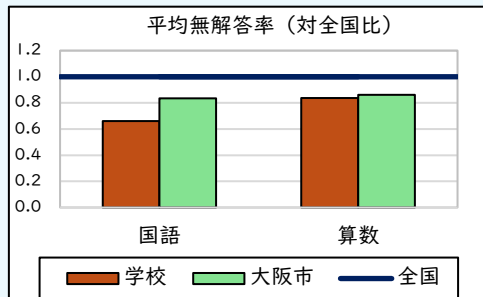
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	55	53
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



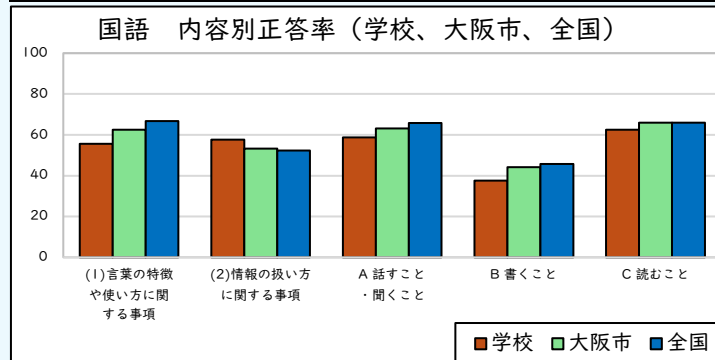
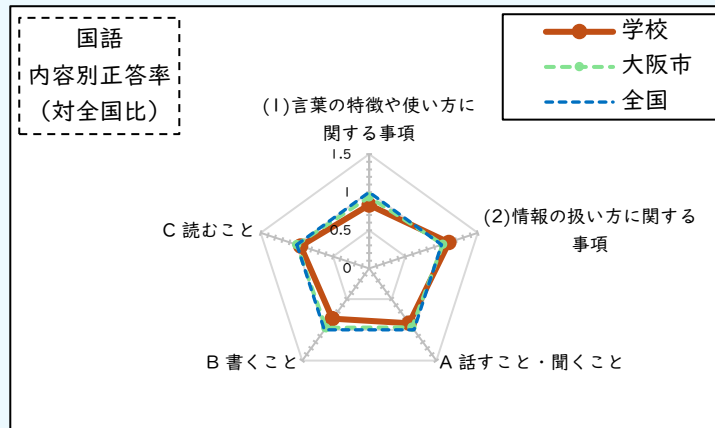
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	2.3	2.7
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



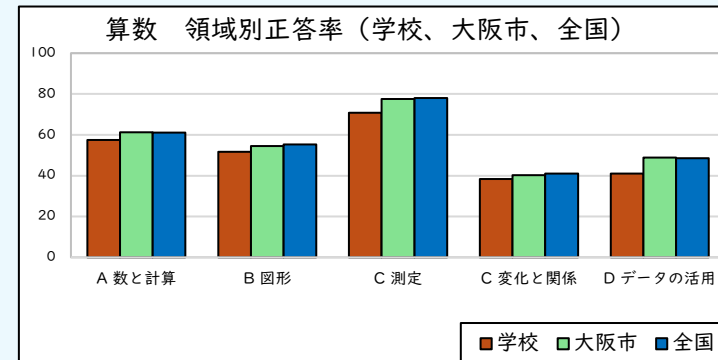
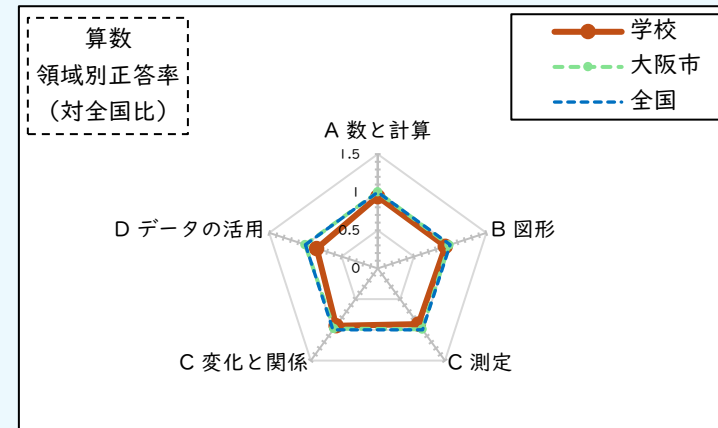
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	4	55.6	62.5	66.8
(2)情報の扱い方にに関する事項	2	57.6	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	58.8	63.1	65.8
B 書くこと	2	37.5	44.2	45.7
C 読むこと	2	62.5	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	57.5	61.2	61.1
B 図形	4	51.7	54.5	55.3
C 測定	1	70.8	77.5	78.1
C 変化と関係	3	38.4	40.3	41.1
D データの活用	4	41.0	48.8	48.6



令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

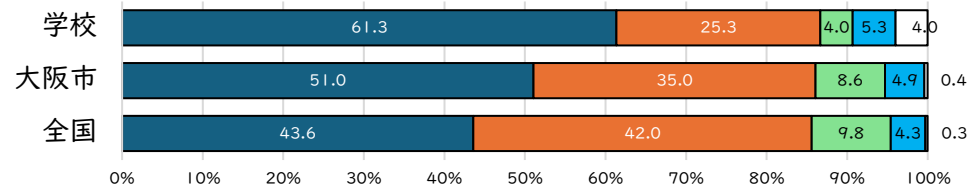
質問番号

質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8)

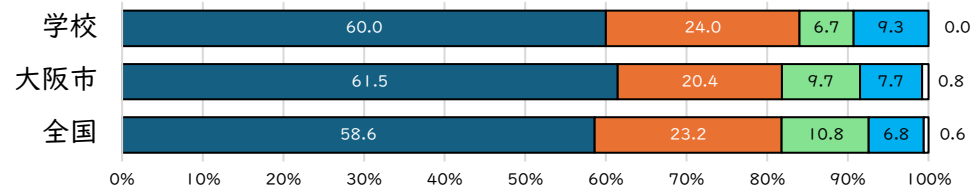
自分には、よいところがあると思いますか



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(10)

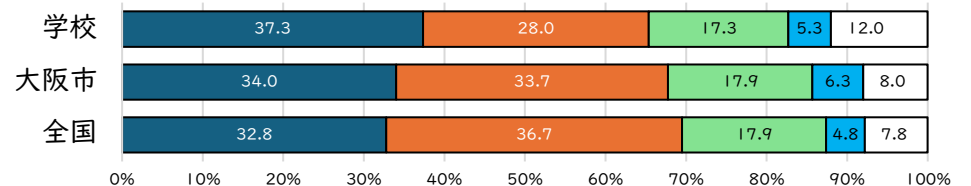
将来の夢や目標を持っていますか



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(36-3)

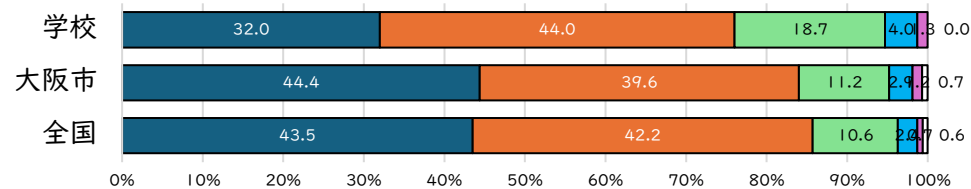
あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができると思いますか



- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない

(42)

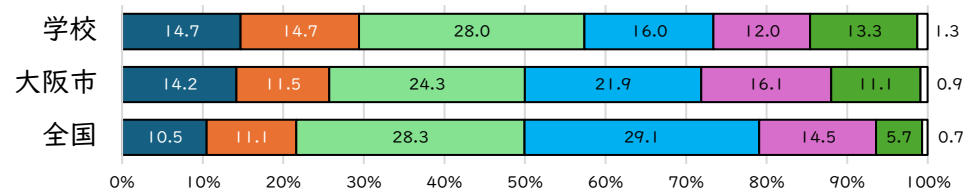
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない
- 5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない

(23)

学校の授業時間以外に、自宅(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



- 1 3時間以上
- 2 2時間以上、3時間より少ない
- 3 1時間以上、2時間より少ない
- 4 30分以上、1時間より少ない
- 5 30分より少ない
- 6 全くしない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

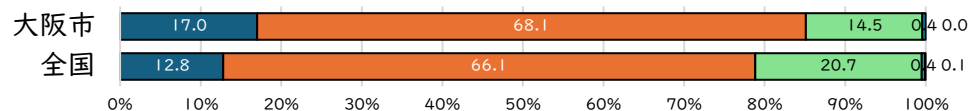
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(27)

調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

【学校の回答】 3 どちらかといえば、そう思わない

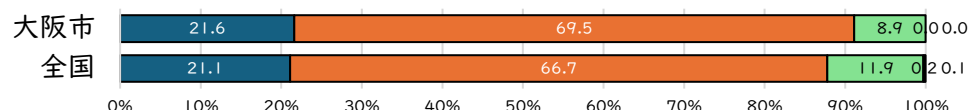


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(28)

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

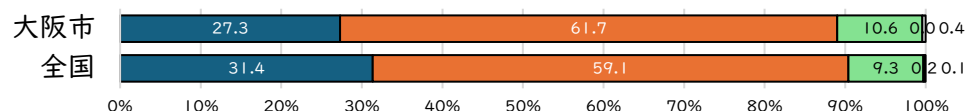


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(83)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校では、児童が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かしましたか

【学校の回答】 1 よく行った

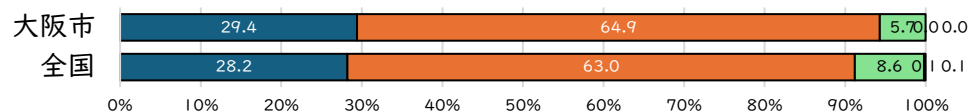


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(31)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童一人一人に応じた、学習課題や活動を工夫しましたか

【学校の回答】 1 よく行った

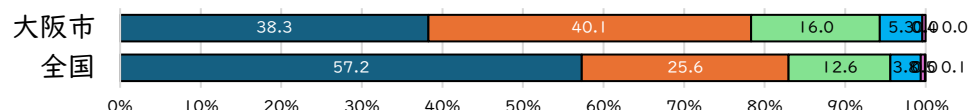


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(60)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

【学校の回答】 3 週3回以上



1 ほぼ毎日（1日に複数の授業で活用）
2 ほぼ毎日（1日に1回くらいの授業で活用）
3 週3回以上
4 週1回以上
5 月1回以上
6 月1回未満